

## 日本の伝統文化(百人一首)を楽しむ明中生 明祥中の伝統行事 1/19

日本古来の百人一首かるたを楽しむことで、伝統文化を尊重する心情と態度を育てることを目標に、生徒会と国語部の合同企画、運営で行われました。行事を盛り上げようと、学級全員が5枚以上の札を取った学級に努力賞を与える新たな賞を設けて行われました。生徒会執行部員が一句詠むごとに、42のブロックからわき上がる歓声ともれるため息。和やかなムードの中、100枚目の札が取られました。その後の個人表彰では、1グループおよそ



10名で競いつつも、一人で47枚を取った3年1位の\*\*\*くんをはじめ、各学年上位3名の生徒に大きな拍手が送られました。個人表彰者は、次のみなさんです。略

団体表彰は1年4組、2年3組、3年2組に、新企画の努力賞は2年1組、2組、3組に授与されました。おめでとうございます。

## 学びをつなげる授業の研究実践と手だての検証

歌詞の一言一言を、場面に合ったイメージで表現しようと、互いの思いやイメージを伝え合い、表現を工夫する授業でした。

明祥中学校での最後の歌声をどう表現するかの問いに、「感謝。」「誇りをもって。」「力強く、堂々と。」など、思いをつなぎ、学びをつなげる3年生の学ぶ姿を目の当たりにしました。9年間の音楽の総仕上げとなる卒業式での合唱にむけ、週1時間の音楽の授業を大切にしようとする真剣な眼差しに感銘を受けました。



音楽科 1/25



家庭科 1/27



調理実習や日常生活を振り返り、実生活で実践可能な「エコクッキングの10の極意」を作る授業でした。

「桶を使って洗い物をする。」「保温調理器を使ってエネルギーを節約する。」「旬の食材を有効に使う。」「電子レンジは時間の短縮にはなるが、本当にエコか?」など、学びを整理したりつなげたりすることで、新たな疑問に直面した2年生。それらを解決することで、学びをより確かなものにしたり深めたりすることができると実感する授業でした。